

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2023(令和5)年11月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第73号



長寿を祝う会 (令和5年9月17日開催)



次の定例会は  
11月27日(月)開会予定です

## 主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～4 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～14 ページ
- 意見交換会(議会報告会) …… 15 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ

# 令和4年度一般会計決算を認定

「下水道サーベイランス事業の実施を求める意見書」、  
「ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する  
適正な診療上の評価等を求める意見書」を可決

「二ノ割駅西口に改札口の設置を求める請願」を採択

## 令和4年度 一般会計決算を認定

令和4年度一般会計決算の  
主な内容は、次のとおりとな  
ります。

### ○主な内容

歳入決算額は、902億1  
618万円、歳出決算額は、  
858億9165万円となり、  
翌年度への繰越財源5億72  
5万円を差し引いた実質収支  
額は、38億1728万円とな  
ります。

### ○歳入の主なもの

市税は、294億5785  
万円（一般会計の32・7%）  
で、前年度比9億7447万  
円の増となっています。これ  
は、市民税個人や固定資産税  
などが増加したことによるも

のです。

次に、地方交付税は、10  
9億3244万円（一般会計  
の12・1%）で、前年度比2  
億811万円の減となってい  
ます。これは、普通交付税に  
おいて、基準財政需要額、基  
準財政収入額が共に増となり  
ましたが、基準財政収入額の  
増額が大きかったことから、  
交付額としては減となったも  
のです。

次に、国からの補助金など  
である国庫支出金は、198  
億3124万円（一般会計の  
22・0%）で、前年度比36億  
2670万円の減となってい  
ます。これは、電力・ガス・  
食料品等価格高騰緊急支援給  
付金事業費補助金の皆増など  
がありました。子育て世帯  
等臨時特別支援事業費交付金

の減などによるものです。

次に、市債は、70億619  
1万円（一般会計の7・8%）  
で、前年度比3億2090万  
円の増となっています。これ  
は、本庁舎整備事業債の増、  
調整池整備事業債の増など  
によるものです。

### ○歳出の主なもの

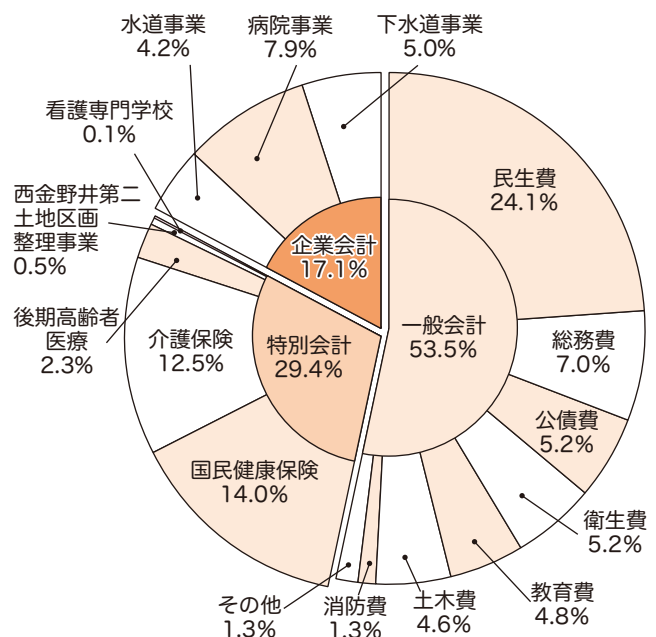
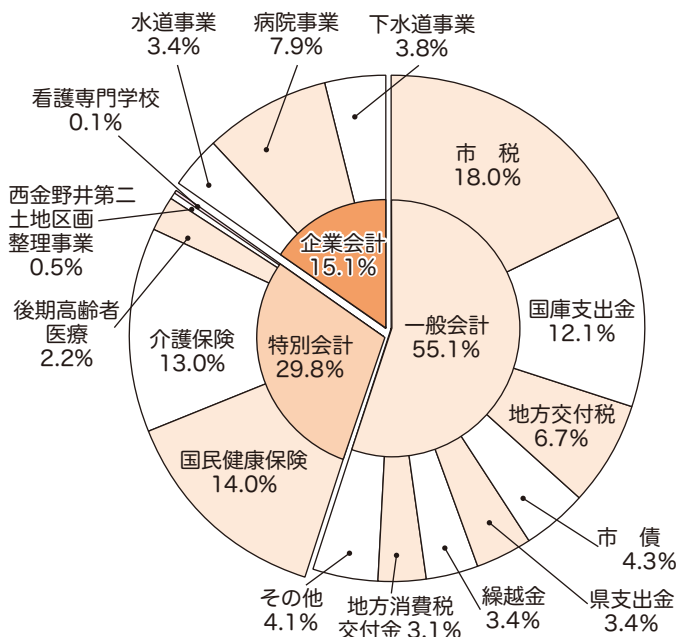
歳出に占める割合の大きい  
民生費は、386億4468  
万円（一般会計の45・0%）  
で、前年度比14億5081万  
円の減となっています。これ  
は、電力・ガス・食料品等価  
格高騰緊急支援給付金給付事  
業の皆増などがありました。子  
育て世帯生活支援特別給付  
金給付事業の減などによるも  
のです。

次に、総務費は、112億  
1845万円（一般会計の

## 令和4年度 会計別決算

歳入総額 1,637億4,295万円

歳出総額 1,604億6,787万円



※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。



13・1%)、前年度比1億9374万円の減で、本庁舎整備事業の増などがありました。が、財政調整基金積立金の減、減債基金積立金の減や衆議院総選挙事務の皆減などによるものです。

そのほか、公債費は、83億3889万円(一般会計の9・7%)、前年度比12億7087万円の増。衛生費は、83億1551万円(一般会計の9・7%)、前年度比5億6124万円の減。教育費は、76億4769万円(一般会計の8・9%)、前年度比10億592万円の増。土木費は、73億9885万円(一般会計の8・6%)、前年度比9億1957万円の増となっています。

### 討論

子育ても老後も安心の春日部へと充実することを願って反対(日本共産党)

令和4年度の市政運営について、市民サービスの向上、市民要望実現に向けて、決算審査を通じて明らかになった課題を4点指摘します。第1に正規職員の増員です。

全体の奉仕者である市の職員は、職員一人当たりの市民数が県内で最も多く、職員の負担が重く、サービス低下を招きかねません。

第2に子育て支援、高齢者、障がい者に対する施策の充実です。保育所、放課後児童クラブ、児童発達支援センターが民間株式会社指定管理されていることは極めて問題です。障害者入所施設の設置は待ったなしの課題です。早急に市の責任で設置すべきです。3点目は安全・安心の活気あるまちづくりです。地球温暖化対策は待ったなし、ゼロカーボンシティ宣言にふさわしい取り組みを求めます。

4点目は教育、文化、スポーツの一層の充実です。小・中学校の老朽化対策、トイレの改善など、学びの場にふさわしい対策が必要です。

コロナ禍の閉塞感から抜け出すために、コロナ禍で再認識した医療・福祉の重要性、効率優先ではなく、互いに支え合う社会へ、住民の安全、健康、福祉を守る自治体本来の役割を発揮し、子育ても老後も安心の春日部へと充実することを願います。

以上を指摘し、反対します。

健全で持続可能な財政運営に努めていただくことを要望し賛成(次世代 かすかべ!)

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応や、その後に生じている物価高騰への対応が大きく影響を及ぼした決算となったものと捉えています。

歳入では、市税について、コロナ禍からの経済活動の再開によって、市民税個人と法人が増加に転じました。また、企業業績の改善や消費の拡大によって、国からの交付金である法人事業税交付金や地方消費税交付金も増加したものと理解しています。

歳出では、総務費において、新本庁舎の建設工事が順調に進んだものと評価します。また、災害時に避難所となる小・中学校の体育館へのエアコンを整備するため、緊急防災・減災事業債を活用し、避難所環境整備事業が始まりました。

そのほか、緊急経済・コロナ対策住宅リフォーム助成事業については、令和4年度に経済対策として実施されましたが、今回の補正予算において、住宅施策として実施され

る端緒を開いたものと大変大きく評価します。今後、少子高齢化の進行による扶助費のさらなる増加や、春日部駅付近連続立体交差事業をはじめとした大規模なまちづくり事業など、多くの行政需要が見込まれる中、健全で持続可能な財政運営に努めていただくことを要望し、賛成します。

### 請願

一ノ割駅西口に改札口の設置を求めるとの請願

#### ○請願要旨

一ノ割駅西側の駅利用利便性向上のため西口側に改札口を設置することを求めます。

#### ○請願者

金重 一夫

【全員一致で採択】

### 議員提出議案

下水サーベイランス事業の実施を求めるとの意見書

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、感染者数の把握が定點把握に変更されたこ

ともあり、正確な感染状況が見えづらくなっている現在、今後起こりうる感染のピークや傾向を把握するためにも、また、新たな感染症に対応するために、「下水サーベイランス(疫学調査)」を全国の地方公共団体の下水処理場で実施するべきです。

感染症対策の基本は、適切な検査を正確に行うことが肝要ですが、PCR検査などでは感染者が自立的に検査を受けなければ陽性者を特定できず、各地域の感染の広がり傾向をつかむことができません。しかし、「下水サーベイランス」を活用すれば、その地域の「見えない感染を見える化」でき、感染の初期段階から、医療機関の検査報告よりも早く感染の兆候が分かる可能性があり、その後の感染の規模や増減の傾向も把握できます。

内閣官房が、令和4年度に実施した「下水サーベイランスの活用に関する実証事業」でも、その結果報告において「将来の感染状況の予測によって、市民への注意喚起や地方公共団体の体制整備に活用できる可能性がある」と明記されたところです。

よって、国におかれましては、令和5年9月1日に発足した「内閣感染症危機管理統括庁」が司令塔となり、厚生労働省、国土交通省、各地方公共団体が連携して下水サーベイランス事業を早急に全国展開することを求め、強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和5年9月20日

春日部市議会

- 衆議院議長 様
- 参議院議長 様
- 内閣総理大臣 様
- 内閣官房長官 様
- 厚生労働大臣 様
- 国土交通大臣 様
- 感染症危機管理担当大臣 様

【全員一致で原案可決】

**ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書**

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力などによる全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症（減少症）によって、日常生活を大きく阻害する様々な症状に苦しんでいる患者の声が、全国各地から国へ数多く寄せられ、平

成18年に山形大学を中心に関連8学会が参加し、厚生労働省研究班による病態の解明が進んだ結果、平成28年より同症の治療法であるブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）が保険適用となりました。

その結果、それまで高額な自費診療での治療を必要としていた患者が、保険診療のもとにブラッドパッチ療法を受けることができるようになりましたが、脳脊髄液漏出症（減少症）の患者の中には、保険適用（J00712）の要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係る者」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じています。

また、その後の研究で、脳脊髄液の漏出部位は1か所とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こる事が報告され、この頸椎や胸椎部にブラッドパッチ療法を安全に行うためには、X線透視下で漏出部位を確認しながらの治療が必要であるものの、診療上の評価がされていない現状があります。

よって、政府におかれましては、この現状を踏まえ、脳

脊髄液漏出症（減少症）の患者への公平で安全なブラッドパッチ療法の適用に向け、以下の事項について適切な措置を講ずることを求め、強く要望します。

記

- 1 脳脊髄液漏出症（減少症）の症状において、約10パーセントは起立性頭痛を認めないと公的な研究でも報告があることを受け、算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えること。
- 2 ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の診療報酬において、X線透視を要件として、漏出部位を確認しながら治療を行うことを可能にするよう、診療上の評価を改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和5年9月20日

春日部市議会

- 衆議院議長 様
- 参議院議長 様
- 内閣総理大臣 様
- 内閣官房長官 様
- 厚生労働大臣 様
- 国土交通大臣 様
- 文部科学大臣 様

【全員一致で原案可決】

9月定例会 審議結果

(○:賛成 ×:反対)

市長提出議案

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	無所属の会	次世代 かすかべ!	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第63号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	行政財産の使用料に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	消費生活センター条例及び福祉事務所設置条例の一部改正 (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	自転車駐車場条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	火災予防条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	市立医療センター使用料及び手数料条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第70号	総合福祉センター空調設備更新工事請負契約の締結 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	市民文化会館非構造部材(特定天井)等耐震対策工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	消防本部庁舎受変電設備等更新工事請負契約の締結 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	新本庁舎建設工事請負契約の議決内容の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 民 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 75 号	令和 4 年度病院事業会計未処分利益剰余金の処分 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 76 号	令和 4 年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	令和 4 年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 78 号	令和 4 年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 79 号	令和 4 年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 80 号	令和 4 年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 81 号	令和 4 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 82 号	令和 4 年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 83 号	令和 4 年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 84 号	令和 4 年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	令和 4 年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 86 号	令和 5 年度一般会計補正予算 (第 5 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	令和 5 年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 88 号	令和 5 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 89 号	令和 5 年度介護保険特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 90 号	令和 5 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 91 号	令和 5 年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 92 号	令和 5 年度水道事業会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 93 号	令和 5 年度病院事業会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 民 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第 4 号	自転車用ヘルメット購入に対する補助を求める請願 (総 務)	不 採 択	×	×	○	○	○	○	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
請願第 5 号	公民館の施設・設備を改善し、使用料の無料化を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	×
請願第 6 号	春日部市議会において陳情も請願と同様の扱いをするよう求める請願 (議会改革 検討特別)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
請願第 7 号	一ノ割駅西口に改札口の設置を求める請願 (建 設)	採 択	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 民 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 16 号議案	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 17 号議案	ブラッドパッチ療法 (硬膜外自家血注入療法) に対する適正な診療上の評価等を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 18 号議案	健康保険証の廃止の撤回を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第 19 号議案	「インボイス制度」の中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第 20 号議案	介護保険制度の改悪を行わないことを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	○	×
議第 21 号議案	原発汚染水 (アルプス処理水) の海洋放出中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>
議第 22 号議案	気候危機打開への有効な対策を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	×	○	○	○	○	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>



# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 荒木洋美議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

## 一般質問に26人が登壇

### 交通施策の 充実に ついて



中村 貴彰  
議員

第四次春バス運行計画(案)が発表されたことにより、内牧・豊春地域では、「なんでもコースがなくなってしまうの」との声がたくさん上がっています。一人でも多くの市民の皆さまからの意見、課題、問題点、情報などをいただきたいと思っています。今回の第四次春バス運行計画(案)に対するパブリックコメントで提出された市民の意見を、春日部市として、しっかりと受け止めていただき、地域の実情に合わせた対策を公共交通福祉、そして春日部市が一つになって検討していくことが重要であると思っています。春バスを巡る交通弱者救済の支援策となりますが、公共交通のみに頼るのは、もはや限界を感じています。

そこで、特に高齢者世代からの意見を多くいただいていることから、福祉との連携も必要ではないかと考えますが、福祉部長の意見を伺います。

○福祉部長  
春バスの運行ルートの変更後、福祉的な観点から別の交通機関に助成をしていく場合、対象者となる方の利用条件の制限が必要になるものと思われまます。現状においては、別の交通機関への助成制度の実施は難しいと考えていますが、他市の例を参考に、今後のさらなる高齢社会を見据え、関係部署と連携を図り、引き続き研究していきます。

このほか

- 防災対策について
- 学校プールについて

### 庄和北部地域や 下柳地域も 豪雨災害から守れ



大野 志子  
議員

豪雨によって庄和地域は必ず冠水が起こり、そのたびに市に対策を求めてきました。繰り返し取り上げること職員員の危機意識を醸成できると考えています。

庄和北部地域は、18号水路の流れが悪く、冠水するため、庄内領悪水路へポンプによる

吸い上げを行っています。

県への要請を早期に行うことと18号水路を外郭放水路第2立坑まで改修し、立坑へ流入しやすくすることが重要と考えますが、市の認識を伺います。

下柳地域は、イオンモールやビバホーム周辺が、豪雨のたびに冠水し、今回もひどい状況でした。川端排水機場の強化が必要と考えますが、市の認識を伺います。

○環境経済部長

ポンプによる排水については、土地改良区、庁内関係課と協議し、状況に応じた迅速な対応を図っていきます。

○建設部長

18号水路は、庄和北部地域の治水対策において重要と考えています。毎年少しずつでも護岸改修を実施していきたいと考えています。

川端排水機場の強化については、排水先の中川が未改修のため、難しい状況ですが、国や県に中川の早期改修を要望していきます。

このほか

- 庄和高齢者憩いの家を庄和保健センター跡地に
- 地元農産物を生かし、庄和地域も自校給食に

## 戦略的広報について



小久保博史  
議員

戦略的広報とは、各年齢層への的確な広報というようない明確な目標を持ち、情報収集と現状認識を把握した上で計画を考え、その計画から見えてきた、さまざまな対処法を選択し、的確に発信を行うことだと考えています。

今まで本市では、さまざまな取り組みや事業が進められています。それがどんな取り組みで、市民がどのように関わることができるのか、市民の皆さんへタイムリーに分かりやすく伝えることは、とても重要だと思えます。それと同時に、人口減少の時代にあつては、人や事業者から選ばれるまちとなるために、市民だけではなく、市外の方にまちの魅力を知っていただくことも必要です。

そこで、広報紙やさまざまな媒体を活用した広報戦略の今後について、市長の考えを伺います。

### ○市長

まずは、多くの方に本市の魅力を届けるために、広報紙や各種SNSなどをシテイールスの重要な媒体として捉え、積極的に活用していきたいと考え、実践しています。

また、本市も協力して、春日部市観光協会が、「るるぶ特別編集春日部」を発行しましたが、このような媒体もフルに活用し、春日部の魅力を強く印象づけ、次もまた訪れたいと思っただけのよう取り組んでいきます。

このほか

### ○防犯のまち春日部について



るるぶ春日部（春日部市観光協会作成）

## Park・PFI制度の活用について



鬼丸 裕史  
議員

近年ではPark・PFI制度を活用して全国で100を超える公園が整備され、埼玉県内でもマスコミに報道されているところがあります。

そこで以下伺います。

① Park・PFI制度の概要について②春日部市での活用予定について

### ○建設部長

①この制度は、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園のにぎわいの創出や子育て、教育環境の充実など、公園利用者の利便の向上につながる新たな整備および管理手法です。

事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用され、その特例として、公園施設の設置管理許可期間を上限20年の範囲内で受けることが可能となることや、建ぺい率の緩和などがあります。また、公園管理者は民間資

金を活用することで、公園施設の整備や管理にかかる財政負担の軽減が図られます。

②今年度（新）中央町第1公園において基本計画の改定を実施します。この基本計画の改定では、Park・PFI制度を含めた民間活力導入の可能性についても検討を行ってまいります。民間事業者の意向調査などを踏まえ、市民に親しまれ、魅力ある民間収益施設の導入ができるよう積極的に取り組んでいきます。

このほか

### ○公共施設への太陽光発電設備の設置について

## 本市の学力向上への取り組みについて



伊藤 一洋  
議員

埼玉県戸田市では、プログラミング教育を積極的に推進しており、市内小・中学校の管理職や教員を委員とする「プログラミング、ICT教育研究推進委員会」を設置し、小中一貫のカリキュラムを作成しています。また、専門性の高い民間企業と積極的に連

携し、最先端のプログラミング教育を活用した授業研究を行っているようですが、本市として特に力を入れたい教育活動を伺います。

### ○学務指導担当部長

本市として、特に力を入れたい教育活動については、以下3点です。

1点目は、主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業改善です。これまでの教育実践とICT機器の活用をベ

ストミックスさせ、個別最適な学びを充実させていきます。2点目は、英語のスコア型テストを中心とした英語教育の充実です。スコア型テストの活用で生徒のコミュニケーション能力やグローバル化の進展に対応する力を身につけさせるとともに、英語科教員の授業力向上を目指します。

3点目は、特別活動の充実です。児童生徒が集団活動を通して人との関わり合いを深め、社会生活や人間関係の形成について学び、自己実現を図り、自己肯定感を高められるような取り組みを、学校の実態に即して進めていきます。

このほか  
○小樽市との連携協定について



## 迷惑な路上喫煙者を減らすための対策について



酒谷 和秀  
議員

路上喫煙者に関して、市民からどのような苦情・要望が寄せられているのか伺います。

また現在、春日部市の条例では、市職員が路上喫煙者を発見しても市職員の指導に従い、その場で煙草の火を消せば、過料2千円を支払う必要はありません。実際に春日部市は、これまで一度も誰からも過料2千円を徴収した実績はありません。これでは、まったく抑止力にならないと考えます。そこで、路上喫煙者を減らすため、他自治体のように、違反をすれば、その場ですぐに過料を徴収できるようにすべきではないか、春日部市の考えを伺います。

### ○環境経済部長

市長への提言として寄せられたものや電子メールなどによる意見の主な内容として、禁止区域内での路上喫煙や指定喫煙所のエリア外での喫煙行為への苦情、これらに対す

る指導の強化を要望するもの、受動喫煙に関する苦情となっております。

直罰方式を本市に導入する場合、指導や過料の徴収に従事する人員の確保、市内に一時的に滞在する方に禁止区域などを周知する方法などの課題もあります。また、現行の対策により、路上喫煙の防止に一定の効果が見られていることから、引き続き職員による巡回指導、広報活動に取り組みとともに、過料徴収の在り方については、さまざまな事例を研究し、見極めていきたいと考えているところです。

## イベントに対する市の関わりについて



榛野 博  
議員

コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて、各地でイベントなどが緩和され、地域に活気が出てきたように感じます。市民の皆さんが思い思いの活動を活発にされることは地域活性化に影響し、喜ばしいことであると考えます。今回は「春日部夏まつり」

について、どのような団体が主催し、本市がどのように関わっているのか伺います。

また、会場内で喫煙者を見かけましたが、喫煙場所は1カ所しか用意していませんでした。路上喫煙について、どのような予防対策や喫煙者の対応を講じたのか、併せてごみ問題についても伺います。

### ○環境経済部長

主催は、粕壁地区自治会連合会、春日部商工会議所および一般社団法人春日部市観光協会の三者により構成される春日部夏まつり実行委員会が主催となって開催しています。その実行委員会に協力という立場で市が関わっています。路上喫煙対策は、路上での喫煙をしないよう、会場内の放送で繰り返しアナウンスを行い、警察やスタッフが会場内を巡回しました。また、実行委員会の会議においても、みこし責任者に担ぎ手への周知徹底もお願いしています。

ごみの対応については、会場美化のため、来場者や出店者には、ごみの持ち帰りをお願いしているところです。

### このほか

○公平な公民館（公共施設）等の利用について

## 新本庁舎のクラウドファンディングについて



河井 美久  
議員

新本庁舎建設工事については、工事が着実に進み、建物の外観が姿を現し、日に日に変化する工事現場の様子を見て、私をはじめ多くの市民が竣工を楽しみにしているところです。

今回のクラウドファンディングについては、幅広い世代の皆さまが利用できる「まちの commons ペース」を設置し、たくさんの方が集い、交流し、にぎわいのある庁舎を建設するという重要プロジェクトについて、寄付金の使い道を新本庁舎建設工事にすることを明確化し、それに共感された方から寄付を集めるといっても、素晴らしい取り組みと大変評価しています。目標金額3000万円を大幅に上回る寄付が集まったとのことですが、これだけの寄付が集まった要因について伺います。

○公共施設事業調整担当部長  
要因の1点目は、子どもか



新本庁舎建設工事クラウドファンディング（8月29日で終了しました）

ら大人までが集う、にぎわいのある市役所に生まれ変わるというコンセプトに対して、多くの方々が共感され、新本庁舎建設工事に参加し、応援したいと思っていただけのことです。2点目は、さまざまな媒体を通じて、より多くの方々に、クラウドファンディングを知っていただくことです。また、複数の新聞に取り上げられ、記事をご覧になった方から、たくさんのお問い合わせがあるなど、これらの周知により、多くの寄付をいただき、目標金額を達成できたものと捉えています。



## 春日部市立医療センターにおける救急医療について



山崎 進  
議員



春日部市立医療センターは、平成28年7月に医療を開始して、7年が経過しました。ドクターや看護師の患者さんへの対応は、安心してお任せできる医療体制であると感謝しています。一方、救急車の受け入れについては、医療センターへお願いしても、他の医療機関に搬送されてしまうこともあります。市民の救急は、是が非でも受け入れていただきたいと思いますが、医療センターにおける救急医療の現状を伺います。

また、救急患者の受け入れができない要因と今後の受け入れの充実に向けての取り組みについて伺います。

○病院事務部長

救急車の受け入れについては、令和3年度以降、行動制限の緩和などもあり、要請件数、受け入れ件数ともに増加している状況で、可能な限り救急患者の受け入れに努めて

います。

全ての要請を受け入れできない理由については、他の患者の対応を行っている場合など「処置中」が最も多く、限られた体制において断らざるを得ない状況もあるという現状です。

受け入れ体制の充実に向けた取り組みについては、消防職員を交えた協議や事例検討等を定期的に行い、受け入れ件数の向上に取り組んでいます。今後も救急専門医の確保など、体制の充実に努めます。

このほか

○防災対策について



救急搬送する救急車

## デジタル地域通貨について



栗原 信司  
議員



地域通貨に関しては平成16年に取り上げ、関連した事業として、介護予防に特化したボランティアポイント制度として動きましたが、予算要望などを通じ、本来あるべき地域通貨事業の導入を求めています。

その後、新型コロナの影響で市内経済はもとより、国内的に景気が厳しくなったことを受け、国として支援策を打ち出し、春日部市としてもこれを財源とするプレミアム付電子食事券の発行などに取り組んだところです。本来求めてきた形に一步近づきました。

また同様に、大手企業がキャッシュレス決済などを強力に進めたことや、国がマイナンバーカードの普及促進を図ったこともあり、キャッシュレス決済という仕組みや、デジタル地域通貨的背景、基盤が整ってきました。そこで、改めてデジタル地域通貨に関

する市の認識を伺います。

○市長

デジタル地域通貨を導入している、いずれの事例も地域内の経済活性化を目的として取り組まれており、効果的な施策の一つとして認識しています。今後、関係する皆さまからもご意見をいただきながら、本市における持続可能なデジタル地域通貨について導入が可能か検討していきます。

このほか

○ユニバーサルシートの設置について

○冠水時の市道の安全対策について

## 一ノ割周辺地域の整備について



木村 圭一  
議員



駅利用者の利便性向上に向けた改善をしてほしいことから、何度か議会で取り上げましたが、これまでの答弁では、駅の橋上化と周辺のまちづくりを一体的に進めるとのことです。一体的となると、住民などとの合意形成にも相当な時間を要することから、今回

提出された請願のとおり、駅西口に改札を設置できないか。また、駅地下道では、自転車や電動車いすなどが通れないことから、自転車などが利用可能なエレベーターを設置できないか。さらに、駅周辺の一体整備に向けた地域住民との合意形成を、市長はどのように行っていくのか伺います。

○都市整備部長

改札の設置は、設備の新設や駅員の配置、利用客の動線確保が必要となり、橋上化を見据えた上で、暫定的でも利便性の向上につながる方策を、東武鉄道と協議していく必要があると考えています。

○建設部長

エレベーター設置は、用地の確保など、多くの課題があると捉えています。

○市長

地元地権者や住民の皆さまのご意見、ご協力を賜りながら、今後を見据えたまちづくり構想について共通認識を図っていきたくと考えています。

このほか

○生活保護者の自立支援について

○浸水対策の強化について

○地域ブランドや、地域農産物について

## ネーミング ライツについて



奥沢 裕介  
議員

持続可能な施設運用の一助として、公共施設のネーミングライツにて得られた諸収入を、施設の維持管理費に充当している自治体が増えていきます。

三郷市のセナリオハウスフイールド三郷のように、ネーミングライツに併せて有料看板などの広告収入を得ることも有効な施策になると考えています。

特に、これから新設や改修などを検討する場合、施設的设计段階からネーミングライツと併せて広告収入を見込むことが可能かを検討していく必要性があると思いますが、本市としての考えを伺います。

### ○総合政策部長

本市において、今後も行政需要の変化に対応し、持続可能で質の高い行政サービスを提供していくためには、自主財源の確保に積極的に努めていく必要があります、ネーミング

ライツと併せて広告収入を得ることにしても広告の掲載場所を含め、検討していく必要があるものと考えています。

### ○市長

ネーミングライツについては、本市における安定的な財源確保の観点から、有効な手段の一つであると認識をしています。

そのため、ネーミングライツの導入や広告収入などにより、本市の自主財源の確保に努めるとともに、施設の魅力や市民サービスの向上につながるよう、実現に向けて検討を進めていきたいと思えます。

### コロナワクチンのメリット、デメリットを春日部市民はどこまで理解できているのか



石川 友和  
議員

大阪の泉大津市でのコロナワクチンの対応を伺った上で、とても共感できる部分がたくさんありましたので、どこまで打つ必要があるのか、無料だからと軽い気持ちで接種するのではなく、将来の自分のこと、家族、恋人のことを真剣に考える機会にしてほしく、

今回の質問に至りました。そこで、以下伺います。

- ①オミクロン株B A 4 / 5の2価ワクチンは、マウスでしか試験を行っていないが、市は理解をしているのか②ワクチン秋開始接種のお知らせが私にも届いたが、同封された内容を見てもメリット、デメリットの記載がどこにもない③秋開始接種における春日部市のコロナワクチン接種の対応について。

### ○健康保険部長

①2価ワクチンは、非臨床試験において、さまざまな変異株に対する予防効果が確認されたことから、薬事承認されたものと認識しており、適切なタイミングで、より効果のあるワクチンを使用することが必要であるとの判断から使用してきたものと考えています。

②秋開始接種については、使用されるワクチンが承認される前に接種開始日が確定していたことから、ワクチンなどを含め、詳細な内容に触れずに接種券を発送したところですが③市医師会と協議を行い、乳幼児(生後6カ月から4歳)の接種券については、初回接種を含めて申請による交付としたところでです。

## 道の駅「庄和」 新たなステージに向けて



吉田 稔  
議員

道の駅「庄和」は、庄和商工会が指定管理者として管理運営し、オープンして19年目となります。庄和エリアにて農業や商工業の中心として、にぎわいの創出や地域の発展を支えており、新たに国が推進している「道の駅第3ステージ」について検討しています。そこで、以下伺います。

### ①現状の課題について

②春日部市として、今後の道の駅「庄和」に期待すること

### ○環境経済部長

①道の駅「庄和」における課題ですが、3点あります。1点目は、来館者数が年々減少傾向にあること。2点目は、県内において、新たな道の駅の整備検討が進められていること。3点目は、施設の老朽化です。オープンから18年が経過しており、設備の更新時期も迎えています。

### ○市長

②農産物直売所である道の駅

「庄和」が、本市の観光資源として、今後ますます重要な拠点になっていくことを期待するとともに、県外からも観光客が多く訪れるような観光スポットを目指していきたいと考えています。「防災道の駅」や「道の駅第3ステージ」の内容についても、民間のノウハウなどを活用しながら進めていきたいと考えています。指定管理者と一緒に全国のモデルとなつていようなら、前向きに活動している指定管理者をしっかりとバックアップしていきたいと思えます。



道の駅「庄和」



## 生命（いのち）の 安全教育について



藤原 智子  
議員



子どもたちを性暴力の被害者、加害者、そして傍観者にさせないために、幼児期から発達段階に応じて学ぶ「生命の安全教育」は、2023年度4月から本格的にスタートしました。

「生命の安全教育」に取り組まれている春日部市内の学校の中には、外部講師による授業が行われた学校もあります。生命と性に1番近い存在である助産師など、資格のある外部講師による授業を行う意義を強く感じました。

指導については、さまざまな課題もあると思われまます。教育長は今後「生命の安全教育」を、どのように推進していく考えなのか伺います。

○教育長  
性犯罪、性暴力から子どもたちを守ることは、全ての学校が丁寧に取り組む必要があると考えています。生命の安全教育について、本市として

は、県教育委員会などと連携を図り、教職員を対象とする研修会の実施や、発達段階などのニーズに応じた指導者の紹介、情報提供、情報共有に努めていきます。

どの教員にとっても指導がしやすく、子どもたちにとっても分かりやすい生命の安全教育を推進し、子どもたちを性犯罪、性暴力の被害者、加害者、傍観者にさせない教育に取り組んでいきます。

このほか

○武里地域におけるリノベーションまちづくりについて

○介護予防の推進について



生命の安全教育（イメージ）

## 「住民が主人公」 市民参加、市民協働の 仕組みづくりを



並木 敏恵  
議員



春日部は、人口減少が続き、活気が失われています。活気と魅力あるまちにするために、市民参加、市民協働で市民パワーを市政に生かすことが必要です。

若者の力によるまちづくりを目指し、中学生・高校生の少年議会の政策を実現している山形県遊佐町に学び、少年議会、子ども議会で若者や子どもたちの声を市政に生かすべきと思うが、どうか。

市民参加、市民協働のセンター「市民活動センター」の運営を指定管理者制度で民間株式会社が行っていることは問題です。市民団体の88%が市と協働したいと望んでいますが、市の協働したいを正面から受け止め、共に知恵を絞って「市民が住みたい魅力あるまち」を共につくっていくために、市民活動センターは市が直接運営すべきではありませんか。

## ○こども未来部長

今後策定する「こども計画」において、子ども議会なども含めて、子どもの意見を市政に反映させる取り組みについて、検討していきます。

## ○市長

市民活動センターの運営は、民間のノウハウを生かすことで、多様化する住民ニーズに応えやすくなり、従来の自治体にはないサービスが期待できることから、今後とも連携を図りながら進めていきます。

このほか

○ベネッセスコア型テスト「GTEC」について

## 猛暑がら 子どもたちを 守るために



古沢 耕作  
議員



今年の夏は日本全国、また世界中で大変な暑さが続き、最高気温35度を超える猛暑日の日数は、各地で過去最高を記録しました。国連の事務総長も「地球温暖化」を超えて「地球沸騰化」の時代に入ると警鐘を鳴らしています。この暑さは、特に身体が成長

長段階にある子どもたちに大きな影響を与えています。そのことを踏まえ、小・中学校、義務教育学校での暑さ対策について伺います。

①この猛暑が子どもたちに与える影響について、どんな危機感を持ち、対応しているのか、教育長にお聞きします。

②それを踏まえた、具体的な対策について伺います。

## ○教育長

①子どもたちの熱中症が心配されたため、早い段階から対策に取り組み、登下校時や授業中、特に屋外における熱中症対策について、各校に通知文を出し、校長研究協議会などにおいても指示しました。

## ○学務指導担当部長

②登下校では、日傘や冷感タオルの使用、麦わら帽子の着用を可とする小学校や、体操着での登校を許可する中学校があります。また、教室ではエアコンや扇風機などを適切に利用したり、水泳の授業は涼しい時間に変更したりしています。中学校の部活動においても同様の対応を行っています。

このほか

○パートナーシップ制度導入後の状況について

## 春日部市における 産業基盤整備について



会田 吉幸  
議員

平成25年に庄和地域と春日部市街が1本の道でつながり、まさに合併の象徴である藤塚米島線沿道には、いろいろな店舗などが立ち並び、にぎわいをみせる道路、地区になると、庄和地域の住民は思っていました。

しかし、開発の指定基準からすると、この沿道の開発はまだまだであります。数年後には東埼玉道路が赤沼・銚子口地区に入ってくるという中で、この東埼玉道路のインターチェンジに近い庄和地域の永沼地区は非常に高いポテンシャルがあると思いますが、藤塚米島線の通る永沼地区の今後のまちづくりについて、市はどのように考えているのか伺います。

### ○都市整備部長

永沼地区については、第2次総合振興計画および都市計画マスタープランにおいて、国道4号バイパスや東埼玉道

路などの広域幹線道路の結節点周辺の利便性を生かし、産業・流通系土地利用の誘導など、新たな産業集積の土地利用を検討する産業集積検討ゾーンとして位置付けています。

また、国道4号バイパスや藤塚米島線などの広域幹線道路の沿道については、交通の利便性を生かした沿道利用の産業立地を誘導する沿道ゾーンとして位置付けています。永沼地区においては、長期的な視野の下、引き続き新たな産業集積を図る土地利用の可能性について検討していきます。

## 学校・公共施設の トイレの個室に 無料の生理用品を



木下三枝子  
議員

令和4年7月の内閣府の調査では、県内の7割弱の自治体が女性の健康や人権に深く関わる「生理の貧困」に何らかの対応をしています。

市内の小・中学校など的一部でも教室と保健室が遠いことから、今年度からトイレの個室に生理用品を設置する取

り組みが始まりました。

今ではスタンダードになった学校や公共施設のトイレレットペーパーの設置も過去にはそうではありませんでした。生理用品も同様に衛生消耗品であり、世界でも日本でもトイレに設置しようとの機運が

広がりにつつあります。そして、市の施策の決定にはジェンダー平等の視点が求められており、女性や子どもの尊厳と健康を守り、社会生活で一割も時間を割かれる生理における不平等を少しでも軽くしてほしいという当事者の声に応えて、全ての公共施設のトイレの個室に生理用品を設置すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

### ○市長

安全で衛生的に生理を迎えられる環境の確保は、女性の基本的な人権として尊重されるべきものと認識をしています。生理用品配布については、現状を維持しつつ、どのような場所、形態での支援が適切であるか、現場の意見等も参考に、十分に見極めていきます。

### このほか

○市民の多様なニーズに寄り添った第四次春バス運行計画策定を

## 内牧黒沼公園について



金子 進  
議員

内牧黒沼公園はハス池、シユウブ花、ジニア畑、ホタル小屋があり、これらの管理について質問します。この公園に数年前から雑草が目立ち始め、今年は雑草の繁茂が広範囲に増えてしまいました。特にハス池は背の高いヨシやガマなどの雑草が増えて、ハスの花は狭いところに咲いていました。このヨシやガマなどの雑草を除去し、以前の景観に戻してもらうための対策について伺います。

### ○建設部長

雑草が繁茂するという現状を解消するためには、雑草だけでなく、抜本的な対策が必要であると認識しています。対策については、初めにハス池の水を抜いて土を掘り起こし、ハスの株とヨシやガマなどの雑草の根を引き離します。次に、今回と同様な状況

になった平成20年度の事例を参考として、ハスの株の生育

状況や土壌環境を専門業者と確認し、土壌改良などの必要な対策を行います。次に、改良した土壌へ株分けを行ったハスの株を戻し、その後の雑草の繁茂状況やハスの開花状況を確認する予定です。

これらの対策はハス池全体ではなく、実施箇所を限定して行い、その効果を十分検証した上で次年度以降、順次実施するなど計画的な対策を行っていきたいと考えています。

このほか

○A21号橋架け替え工事に伴う懸案事項について

○自治会について



内牧黒沼公園のハス



### 高齢者等へ 安心した生活への 取り組みについて



大里 昇  
議員



現在、ほとんどの自治体において少子化と高齢化への問題や課題が進行してきており、国を挙げて取り組むべき重要な課題となっています。そして、高齢化社会での1人暮らしの方や身寄りのない単身高齢者も増えつつあります。

- ここで、以下伺います。
  - ①本市において安否確認が必要な方への取り組みについて
  - ②配食サービス事業の利用条件、利用者数、自己負担について
  - ③認知症高齢者への取り組みについて。
- 福祉部長
- ①主に高齢者配食サービス事業があります。食の自立支援が必要と認められた高齢者のみの世帯の方に対し、食事を自宅へ配達することと併せて、利用者の安否確認を行います。
- ②利用対象者は、市内に居住するおおよね65歳以上の1人世帯などで、食の自立支援が

### 両親の離婚等による 面会交流について



平沢 一博  
議員



必要と認められた方です。利用者数は、令和4年度は384人となっています。また、1食当たりの単価を税込み935円と設定し、そのうち食材費、調理費として1食当たり400円を自己負担していただいています。③介護認定を受けている方を対象に、本人確認シールを交付してあります。このシールは、二次元コードが印字され、衣服などに貼ることができません。発見者がコードをスマートフォンで読み取ると、専用のアプリケーションで瞬時にご家族と連絡を取ることができます。

離婚された家庭については、子どもが感じてしまう見捨てられ感、自己肯定感の低下を取り払う意味でも、面会交流は子どもが健全に成長するために不可欠なものと考えられており、また、その充実は、養育費不払い問題の解決にもつながると思います。実際に子どもと会えば、「この子には苦労をさせたくない」と思うのが親心です。日本の子ども7人に1人が相対的貧困状態と言われており、その半数がひとり親世帯です。ひとり親世帯の貧困問題解消という視点からも、面会交流の充実を本市としても本気で取り組むべきであると考えますが、面会交流についての本市の見解を伺います。



認知症の高齢者 (イメージ)

○こども未来部長

両親の離婚後においても両親との良好な関係を維持し、親からの教育や愛情を受ける、このような子どもの権利を保護する観点から、面会交流は離婚後の子どもの健やかな成長にとって必要な取り組みであると認識しています。そのため、今年度から実施している、専門の法律相談の活用を十分に図りながら、面会交流や養育費を含めて子どもの最善の利益を考慮した取り決めを行っていただくよう関係機関とも連携を図り、取り決めの重要性について広く周知していきたいと考えています。

### 内牧公園の駐車場拡張で、 大規模イベントへの対応を



今尾 安徳  
議員



○職員の仕事評価について

○新庁舎における什器について

3月19日、内牧公園で開催された内牧わくわくフェスタ2023に、子どもと一緒に参加をしました。当日は午後に向かいましたが、ものすごい人出で、駐車場がいっぱいで車が全く止められないという状況でした。私は、子どもと先に車から降りて公園内に

入り、子どもを遊ばせたのですが、駐車場が本当に足りないということを目の当たりにしました。

私は、内牧公園を農産物の直売で、地産地消を進める拠点にするべきだという提案をしてきましたが、これだけの高いポテンシャルがあるにもかかわらず、車で行ったが実際に駐車を諦めて帰ってしまった人も、かなりいるのではないかと思います。駐車場の増やしていく必要があると思います。市長の考えを伺います。

○市長

内牧公園は、3月のお花見の頃から5月のゴールデンウィーク明けまでの休日は来場者が最も増加する時期で、駐車場が満車となり、利用者の方々にご不便をおかけしている状況は認識をしています。指定管理者によって実施した3月のイベントでは、非常に多くの方々が参加され、大変にぎわったと聞いていますので、駐車場の増設については、今後の利用状況により、必要性を見極めていきます。

このほか

○子どもにとって最善の学童保育を

### 連続立体交差事業における 高架下空間の活用について



山口 剛一  
議員

現在、春日部市の顔ともいえる春日部駅では連続立体交差事業が進められていますが、工事完了後の春日部駅周辺の変化に期待し、特に鉄道高架下空間がどのように活用されるのか、と聞かれることも多いです。

粕壁地区の自治会が所有している、おみこしを集めての「みこしミュージアム」を待望する声や、駅周辺の町内会が独自に所有する町内会館の結集など、さまざまな有効活用が期待される場所ですが、  
①現在の高架下空間の検討状況  
②高架下空間の鉄道事業者と行政の活用割合  
③高架下空間の利活用に対する市の考え方、方向性について伺います。

#### ○鉄道高架担当部長

①高架下空間の利活用の協議は、鉄道高架橋の設計などが終了してからの見込みです。そのため、市では、利活

用のイメージを持ちながら、速やかに協議が進められるよう県と連携し、市民の皆さまのニーズ把握や他市の事例研究など準備を行っていきます。  
②割合は、鉄道事業者が85%、行政が15%を利活用できます。  
③アイデア募集を行い、多くの貴重なご意見をいただき、これらを県および東武鉄道と共有するとともに、他市の事例を参考に、市民の皆さまと一緒に高架下空間利活用の検討を進めていきます。

#### このほか

○本市の職場環境・働き方について

### 動物愛護管理 行政について



阿部 雅一  
議員

先般の6月議会で、かつて1万頭を超えていた埼玉県内の犬猫殺処分数が、令和4年度は208頭に至っている現状と「殺処分ゼロ」を目指したさまざまな取り組みについて述べました。特に繁殖力の強い野良猫の問題については、地域住民に直接降りかかって

くることから、各自治体において看過できない問題として取り組みを進めているところ。具体的に、「さくらねこ無料不妊手術事業行政枠」への参加について、その必要性を6月の一般質問で要望したところ、「前向きに検討する」との答弁がありました。その後の進捗を伺います。

#### ○環境経済部長

公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業行政枠」への参加については、登録自治体の実績などを踏まえ検討を重ねてきました。その結果として、本事業への参加は、飼い主のいない猫への不妊手術に取り組んでいるボランティアの方の活動や、埼玉県が推進している猫の殺処分数の削減に大きく貢献するものと考え、本年7月に参加を決定したところです。また、8月には、どうぶつ

基金の登録手続が完了し、事業の内容や申請方法など、市の公式ホームページにおいて周知しているところです。

#### このほか

○北春日部駅周辺地区土地区画整理事業について  
○春日部市人口10万人記念樹について

### 第9期介護保険 事業計画策定について



鈴木 一利  
議員

「第9期春日部市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画」が、今年度策定、令和6年度から実施となります。そこで、春日部市第9期介護保険計画策定に当たって、介護事業の中でも、総合事業を、どのように展開をさせていくのか伺います。

また、市内でも通いの場が大きく発展しています。このような通いの場を、第9期計画では、どのように拡充させていくのでしょうか。特別養護老人ホームの入居施設について、本市での地域型特養の誘致について伺います。

#### ○健康保険部長

第9期計画においても、サービスの利用状況や支援を必要とする高齢者の生活状況を把握し、地域包括支援センターなどと情報共有しながら、要支援者や事業対象者の多様なニーズに対応できるように総合事業を展開していきます。

関係各課と連携しながら通いの場を充実させていくことを位置付け、介護予防のための通いの場の意義を高齢者の皆さまに丁寧に伝え、積極的な参加につなげていきます。地域密着型特別養護老人ホームの整備を、第9期計画において位置付けることが可能かどうか、計画を策定する中で前向きに検討していきます。

#### このほか

○ゼロカーボンシティの推進について

○第2期春日部市地域福祉計画・第7期春日部市障害福祉計画の策定について



介護保険の説明を聞く高齢者（イメージ）



**意見交換会  
(議会報告会)を  
開催しました**

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

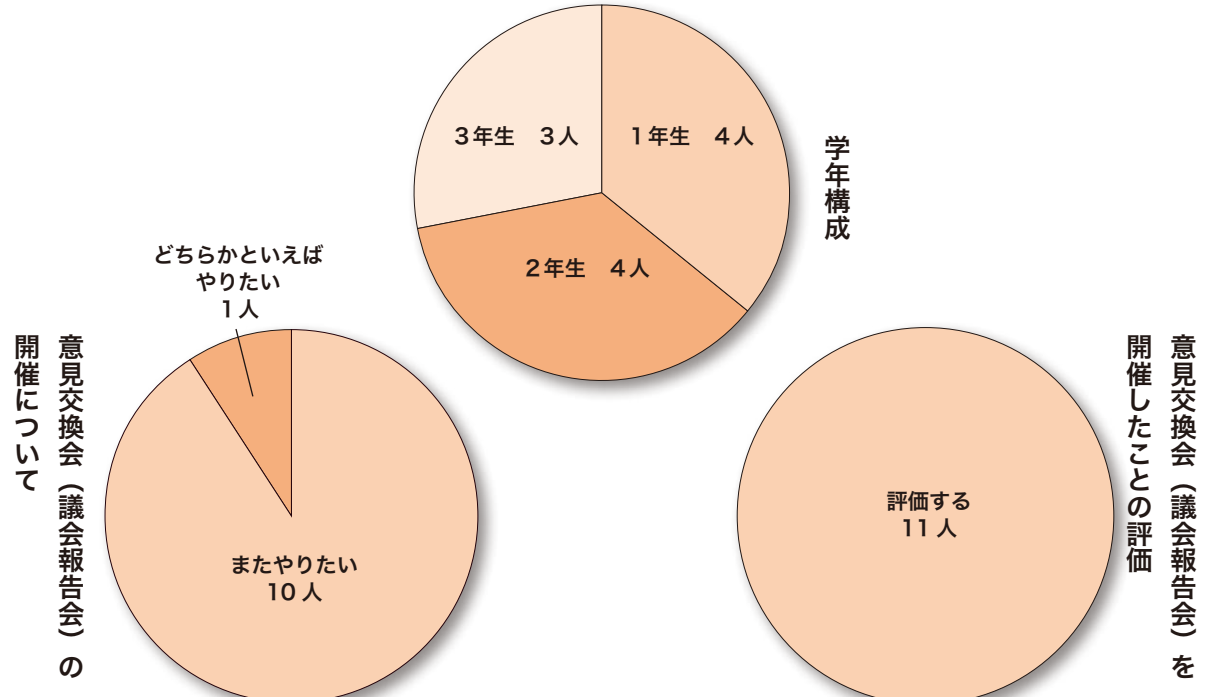
今回は、若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、8月4日(金)に春日部共栄高等学校で開催しました。前半は市議会の役割などの説明を行い、後半は2つのグループに分かれて、生徒さんからご意見などを伺う意見交換会を行いました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していきますのでご覧ください。

詳しい内容は  
こちらから



令和5年度 意見交換会(議会報告会) アンケート集計結果 (一部抜粋)



意見交換会(議会報告会)当日の参加者は、春日部共栄高等学校の生徒会を中心に11名ご参加いただきました。



詳しい内容は  
こちらから



中心市街地まちづくり検討特別委員会および地域拠点整備検討特別委員会において協議を行い、令和6年度埼玉県予算に、本市の要望を反映させていただくよう、10月4日に、議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長、地域拠点整備検討特別委員長の4名で県議会へ要望書を提出しました。

**市議会より埼玉県議会へ  
要望書を提出しました**

合計	20	15	14	12	8	7	5	4	9 / 1	31	30	29	28	8 / 21	月日	今定例会傍聴状況
86	5	13	17	8	6	19	2	7	0	0	1	2	5	1	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会	常任委員会	特別委員会	質疑	質疑	質疑	質疑	上程・説明	主な日程	

### 他議会からの視察受入状況（令和4年度）

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	令和4年 5月18日	埼玉県久喜市議会	春日部みどりのPARKについて
2	令和4年 7月20日	愛知県安城市議会	春日部市シティセールスについて
3	令和4年10月 6日	宮城県石巻市議会	春日部市污泥再生処理センター「かんきょうゆめランド」について
4	令和5年 1月12日	宮城県東松島市議会	かすかべ未来研究所について
5	令和5年 1月20日	埼玉県久喜市議会	EVモビリティ導入について
6	令和5年 2月 7日	愛知県西尾市議会	春日部市議会議員定数適正化について

### 閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会  
8月16日  
・令和5年9月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会  
7月10日  
・議会報告会について  
・議会中継における字幕付与について
- ・議案質疑の際の登壇について
- 8月1日  
・議会報告会について  
・議会中継における字幕付与について
- ・議案質疑の際の登壇について
- ・デジタル化とペーパーレス化について
- ▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
8月9日  
・令和5年9月定例会の対応内容について
- ▽中心市街地まちづくり検討特別委員会  
9月20日  
・県議会への要望活動について

### ▽地域拠点整備検討特別委員会 9月20日

・県議会への要望活動について

### ▽広報広聴委員会 9月28日

・議会だより第73号について  
10月4日  
・議会だより第73号について

### ▽図書室運営委員会 10月4日

・図書購入の申し込みについて

## 編集後記

追々寒さに向かいますが、皆さまにおかれましては、変わりなくお過ごしでしょうか。最近では自然災害による被害が多く、自然環境の変化が大きく報じられ、日頃からの防災意識を高めることがとても大切だと感じています。さて、今回の議会だよりでは、8月に春日部共栄高等学校にて開催しました、春日部市議会初となる、高校生を対象とした意見交換会（議会報告会）の取り組みを掲載しました。若い世代に議会への関心を高めてもらい、また、若い世

代の声を市政に取り入れていくために、高校生の皆さんが日頃、市政に感じている意見や、これからの春日部市に望むことを聞かせていただきました。

さらに、各議員の一般質問では、個人の特徴、傾向も表れますから、その角度から見ると新たな発見があるかもしれません。

市民の皆さまに親しまれ、読んでもらえる「議会だより」の紙面作りに、これからもより一層努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

### 広報広聴委員会

- 委員長 山口 剛一
- 副委員長 木下三枝子
- 委員 会田 吉幸
- 委員 平沢 一博
- 委員 阿部 雅一
- 委員 奥沢 裕介
- 委員 中村 貴彰
- 委員 大里 昇
- オブザーバー  
議長 荒木 洋美  
副議長 吉田 稔

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

Tel 048-736-1111（代表）

内線3116

